



Waseda University
Study Abroad
Student Advisers



- ・この冊子はあくまで学生個人の経験談を基に作成されております。
- ・引用されている情報は細心の注意を払って掲載しておりますが、
みなさまご自身の責任でご利用いただくようにお願い申し上げます。
- ・留学情報の詳細については、早稲田大学留学センター発行『留学の手引き』
および留学センターホームページにて必ずご確認ください。

留学
TIMES
2016. 12

CONTENTS

p.2 第11回 留学フォトコンテスト

p.5 世界のお祭りカレンダー

p.7 みんなの年間活動日記

p.11 留学先の選び方&持ちもの

p.13 住まい

p.15 留学Before After

p.16 法律&マナー

p.17 留学×Future

p.20 やっぱり気になるお金のこと

p.21 留学ハプニング

長期休暇特集

**What did you do
during the VACATION?**

p.27 食べもの博覧会

短期留学特集

"petit" Global Humans of Waseda

団体紹介

学生留学アドバイザーって?
早稲田大学留学センター所属のボランティア団体で、留学センター提供の中長期留学プログラムに参加した早大生によって構成されています。『ひとりでも多くの人に留学の価値を見出しあらう』という信念のもと、留学を支援するイベントの企画、開催や留学TIMESの発行を行っています。



早稲田大学留学センターが提供している留学プログラム

中長期留学プログラム

◆Double Degree Programs (DD)

早稲田大学在学中にDDのカリキュラムを提供する大学へ留学し、所定の要件を満たせば卒業する際に早稲田大学の学位と留学先大学所定の学位の両方を取得できるプログラム。留学期間は1年、1.5年、2年の3パターンがある。

◆Exchange Programs (EX)

大学間あるいは箇所間の交換協定に基づき留学するプログラムで、EX-R*とEX-L*の2種類がある。学費は原則として早稲田大学に支払い、留学先大学の学費は免除される。留学期間は原則1年だが、期間が半年のみのEX (1S)もある。

◆Customized Study Programs (CS)

留学先大学が早大生のために定めるカリキュラムに参加するプログラムで、CS-R*とCS-L*の2種類がある。学費は原則として早稲田大学のものは免除になり、留学先大学に所定のプログラムフィーを支払う。EXと同じく留学期間は原則1年だが、期間が半年のみのCS (1S)もある。

短期留学プログラム

主に春・夏休み中に短期間（2～7週間）で実施される語学研修中心のプログラム。

R*: Regular Academicの略。最初から比較的高い語学力が要求され、現地学生とともに通常科目を履修できる。

L*: Language Focusedの略。外国語学習を中心しながら、語学レベルに応じてテーマに基づいた科目を履修できる。

団体紹介

学生留学アドバイザーって?
早稲田大学留学センター所属のボランティア団体で、留学センター提供の中長期留学プログラムに参加した早大生によって構成されています。『ひとりでも多くの人に留学の価値を見出しあらう』という信念のもと、留学を支援するイベントの企画、開催や留学TIMESの発行を行っています。

FUNN

カモフラージュ 3rd

オランダは世界の花市場の6割のシェアを占める花王国。4月には平たい国土に広がるチューリップ畑が、最高に美しい姿を見せてくれます。

おもしろい 部門
入賞作品

お猿の水分補給 2nd

猿が街を支配すると言われているタイ王国・ロッブリーで、水をポケットに入れていたら見事に盗られました。器用にキャップを開けてゴクゴク。お猿も水分補給が必要なのです。

We are ready for swimming

所属していた水泳部の合宿で、年末年始にカリフォルニアへ。部屋ごとにミュージックビデオを作る課題があり、私のチームは“練習前から練習後まで”をテーマに動画を作成しました。この写真は練習に向かう場面を表わす1枚！カートに乗り、ホテルの廊下を走って撮影しました（笑）

2015・2016年度出発
留学プログラム
参加者対象

第11回
留学フォトコンテスト

「おもしろい “Funny”」「たのしい “Happy”」「つらい “Tough”」
各部門の入賞作品をご紹介！





世界のお祭りカレンダー

～お祭りはその国文化！
あなたはどのお祭りに行ってみたいですか～

ヴェネツィア・カーニバル 2月末～3月頭 イタリア



世界三大カーニバルの一つ。華やかな仮装で有名ですが、起源は12世紀にまで遡ると言われている、歴史的かつ宗教的なお祭りです。

独立記念日



毎年7月4日のアメリカ独立記念日は大々的に祝われます。花火やパレード、その他イベントが各地で催されます。家族でBBQをすることも一つの習慣になっています。

7月 アメリカ

ハロウィン



いまや日本でも定着しているハロウィン。アメリカではカボチャを畑まで買いつけに行ったり、先生が授業に仮装をして登場したり日本とは本気度が違いました！

10月 アメリカ

死者の日 11月 メキシコ



11月1・2日に行われ、家族や友人などが集まり死者への祈りを捧げる。日本のお盆みたいなものだけれども、雰囲気が全く異なり、現地の人はお墓をマリーゴールドで飾り立て、陽気に死者を迎えます。

クリスマスマーケット



11月下旬から開催されるクリスマスのイベント。オーナメントや料理など色々なものが売られています。都市によって雰囲気が違うので、留学生は色々な都市のクリスマスマーケットをまわっていました。

JAN FEB MAR APR MAY JUN JUL AUG SEP OCT NOV DEC

セント・パトリックスデー



3月 アイルランド

3月17日に行われるキリスト教を布教した聖パトリックを讃えるお祭り。5日間パレードが行われ、みんな緑色の服や帽子を身に着けて町に出かけてお祭りを満喫します（笑）

サン・フェルミニ祭 7月 スペイン



ナバーラ州都パンプローナで毎年7月に開催され、スペイン三大祭の一つに数えられます。「エンシエロ（牛追い）」で有名ですが、パレードや花火などのイベントもあります。お祭り騒ぎの9日間となります。

カイトフェスティバル



10月 アメリカ

毎年10月にオレゴン州の海岸で行われるお祭り。毎回何千人もの参加者が集まり、大きな鯨やタコの形をした凧が空を彩ります。

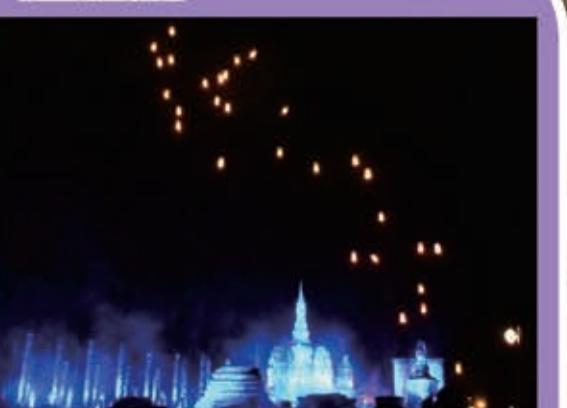
国慶節



10月 中国

1949年以来10月1日に建国記念日として祝われ、天安門広場では毛沢東の写真と向かい合う形で、孫文の写真が飾られます。日本のゴールデンウィークのように、国慶節の大型連休を利用して旅行する人も多いです！

ローイクラトン



11月 タイ

11月にあるお祭りで映画「ラブンツェル」の灯籠祭りのもとになったもの。空に灯籠をあげて、そのままユラユラと上がっていく様子がとても幻想的で綺麗でした！

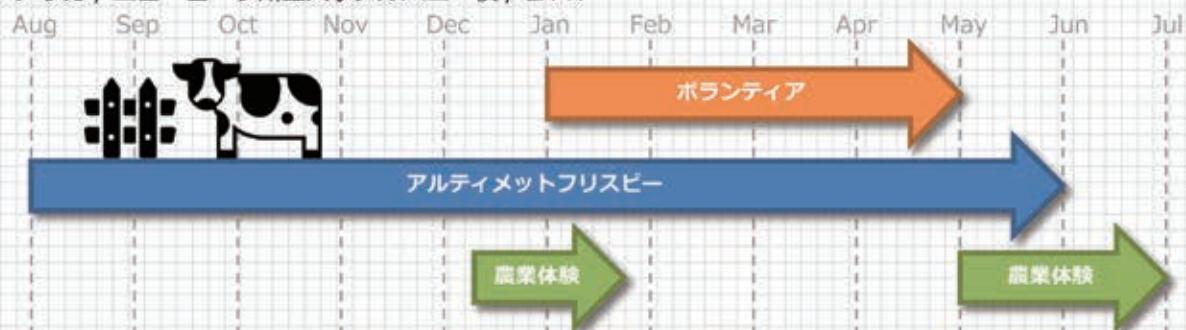
みんなの年間活動日記

＜共通質問項目＞

- ①活動概要 ②課外活動参加の動機 ③課外活動を知ったきっかけ (④印象深いエピソード)
※項目④はエピソードがある人だけ記載しています

Y.N.さん（文化構想学部）

アメリカ / ニューヨーク州立大学アルバニー校 / EX-R



知識を実践した幼稚園でのボランティア

- ① 現地の幼稚園で先生として、週に4~5日働いていました。読み聞かせやお散歩が主なお仕事。それに加えて日本食や折り紙など、日本文化を子供たちに紹介する時間ももらいました。
- ② 元々教育に興味があり、留学中も教育関連の授業を履修していました。書籍やインターネット等を活用して積極的に学んではいたものの、そこから得られる情報だけでは満足できない自分がいました。「実際に現場を見ないと教育は語れない」という想いで始めました。
- ③ 学校のボランティアセンターを活用しました。この幼稚園へ日本人留学生を派遣した前例がなかったらしく、最初は難色を示されました。しかしそこで諦めることなく足しげく通い、やっとのことで派遣先を紹介してもらうことができました。
- ④ 最初はそっけない態度だった子供たちが、徐々に心を開いてくれたことがとても嬉しかったですね。手紙や絵をくれるようになり、先生として認められたと実感できました。



アルティメットフリスビー部でルーキー賞獲得！

- ① 週3日の練習に自主練、週末は遠征で試合もしていました。
- ② 留学生が一人もない、周りが現地の学生だけである環境に自分を置きたいという想いと、チームプレイのスポーツならメンバーとの仲も深まるだろうという考えから入部しました。
- ③ 学校のサークル・部活紹介サイトで見つけました。
- ④ 部としての練習に加えて、個人で筋トレやランニングなどできる限りのことをしました。留学生活最後の大会でルーキー賞をもらったときは、全ての努力が報われたと感じられて、すごく嬉しかったです。



住み込みの農業体験をした長期休暇

- ① 冬休み・夏休みに有機農業を営む家庭に住み込みで、作業を手伝いました。
- ② 日本にいるときから食に興味があって、アメリカでも実際に生産から体験したいと考えました。
- ③ 農業を営む家庭と、農業に興味を持つ人の仲介サイトを利用しました。
- ④ ホストのおじいさんの話や自然の中でのんびり暮らす生き方がてきて、印象に残っています。「また帰りたい」と思える家族のような存在ができました。

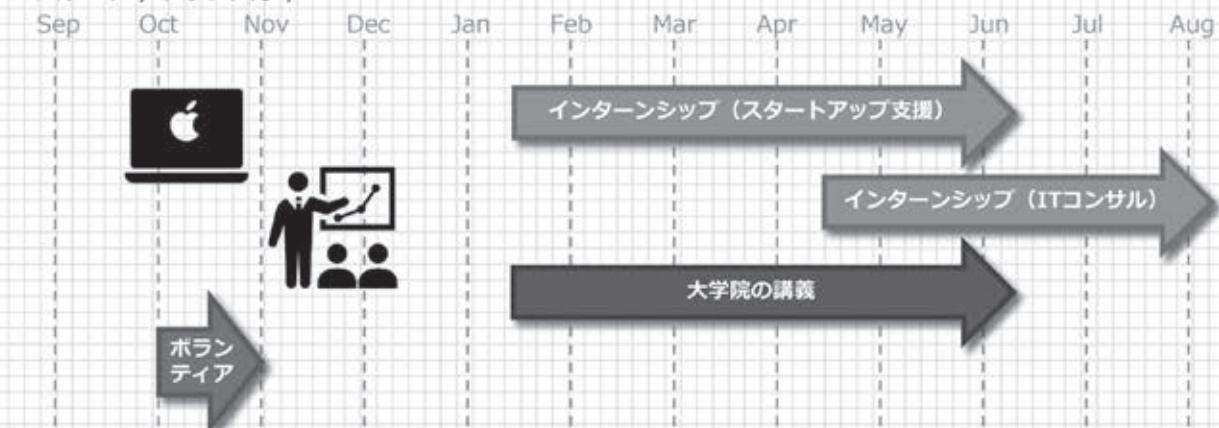


教えて先輩！

留学中どんな活動をしていましたか？

K.S.さん（国際教養学部）

エストニア / タリン大学 / EX-R



IT大国で挑戦した2つのインターンシップ (民間・政府系)

- ① 留学から半年を経て、後期にはIT関連のインターンシップを2つ掛け持ちしていました。1つは民間企業のスタートアップを支援する会社、もう1つは海外政府向けのITコンサルティング会社です。業務が発生して、呼ばれたときに行く形でそれぞれ月に2~5日働いていました。ハッカソン*を含むIT関連イベントの運営サポート、ブログ執筆など色々な業務を行いました。雰囲気の異なる2つの職場で、それぞれ違った面からITの活用について学ぶことができました。
- ② エストニアがIT分野に強い国であるということは以前から知っていました。あまり知られていないけれど、実はSkypeはエストニア発祥なんですよ。他にも、スマートフォンから選挙の投票ができます。そういう強みが政策にも活かされている国で、授業という形で知識を得るだけではなく、もっと実践的に学びたいと考えてインターンシップをしました。
- ③ インターネットで調べたり、友人に聞いたりして見つけました。10個ほどの会社をリストアップしてメールを送り、許可をもらえたところで働きました。
- ④ 3日間のITイベントを運営した際、エナジードリンクを何百本と用意しました。しかし、みんな夜を徹して作業をするためあっという間で在庫切れ。必死に働く人々の本気度を感じましたね。

ハッカソン*: ソフトウェア開発者が数日間で集中的に共同作業を行い、アイデアを競う催しのこと。

【注意】

ビザのステータスによって留学中の就労条件は異なります。

インターンシップを希望される場合は、事前に必ず情報収集を行いましょう！



学長に頼み込んで受講した大学院の講義

- ① 2学期目は学部の授業ではなくほぼ大学院の授業を履修。ヒューマン・コンピュータ・インターラクションについて学んでいました。
- ② 学部の中でおもしろそうな授業を見つけることができなかつたので、大学院の学長に直接頼み込んで取らせてもらいました。
- ③ 講義要項を確認しました。
- ④ 大学院の授業には、一度社会に出て働いた人から自分の会社を持つ人まで、多種多様な学生が集まっていました。そんな周りの学生たちと、専門的な学問の話だけでなく政治、経済の話をすることは自分にとってすごく刺激的でした。

精神障がい者施設でのボランティア

① 前期の間の約1ヶ月のうち6日間の活動でした。入居者の外出サポート等を行いました。

② 以前から介護のアルバイトや孤児院でのボランティアなどをしていて、社会福祉に興味があったので。

③ 社会福祉関連の授業を履修していて、その教授の紹介がきっかけです。

<共通質問項目>
 ①活動概要 ②課外活動参加の動機 ③課外活動を知ったきっかけ ④印象深いエピソード
 ※項目④はエピソードがある人だけ記載しています

G.S.さん（法学部）

オランダ / ライデン大学 / EX-R



日本語会話クラブの運営と現地学生との交流

- ① ライデン大学にある日本学科の学生たちと、毎週テーマを決めて日本語で会話をしていました。初級向けと中・上級向けにわけ、それぞれ週に2回集まりを開きました。毎週15~20人ほどが参加してくれましたね。テーマは『関西弁』、『互いの国民性の違い』についてなど様々で、YouTubeで漫才を見たりしました。中・上級クラスではオランダ人学生の日本語の上手さに毎回驚かされました。
- ② この団体は私たち日本人留学生で運営を始めました。ライデン大学は世界で初めて日本学科が設立された大学で、日本について学んでいる学生が多く、毎年120人ほどの学生がこの学科に入学してきます。入国直後に日本人留学生と顔を合わせる機会があり、その際に現地の学生に対して「日本語を話す場を提供しよう」と意見が一致した結果、この活動を始めました。
- ③ 自分たちで設立した団体であるため、特に知ったきっかけはありません。
- ④ 3月に大使館などが後援する日本語スピーチコンテストが開かれ、私たちのクラブで参加するオランダ人学生たちの練習を手伝いました。その結果、ライデン大学の学生が優勝、準優勝、特別賞などを獲得したので、とても誇らしかったです。



ロッテルダムマラソンとロンドン自転車旅行

- ① 4月にロッテルダムマラソンに参加し、5月には友人と3人でライデンからロンドンまでの自転車旅行を敢行しました。マラソンは2ヶ月ほど前から準備を重ねました。自転車旅行ではドーバー海峡を越える際にフェリーに乗った以外は、3日間朝から晩までひたすら自転車を走らせました。
- ② 留学中に「一生懸命にやってみたいことはこの1年でできるだけ挑戦する」というモットーを掲げていました。それに基づいて、他人がやりそなかな実行しないことをやろうと考え、様々なことに挑戦しましたが、これらもそのうちの一部です。
- ③ マラソンは日本人留学生に誘われて参加し、自転車旅行はまた別の留学中に知り合った友人と計画して連休中に実行しました。
- ④ 実は旅行途中、イングランド南部で転んでしまい、大けがを負ったのと同時に、自転車も大破てしまいました。そのため、旅行の続行は不可能かと思われましたが、近くの町に自転車を担いでいくと、修理業者の人がすぐに直してくれました。その結果、旅行日程は3日間から4日間に延びたものの、目的地のロンドンまで到達することができ、ビッグベンを前に大きな達成感を得ることができました。



M.Y.さん（文化構想学部）

アイルランド / ユニバーシティ・カレッジ・ダブリン / CS-R

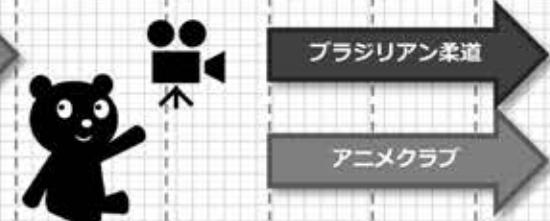
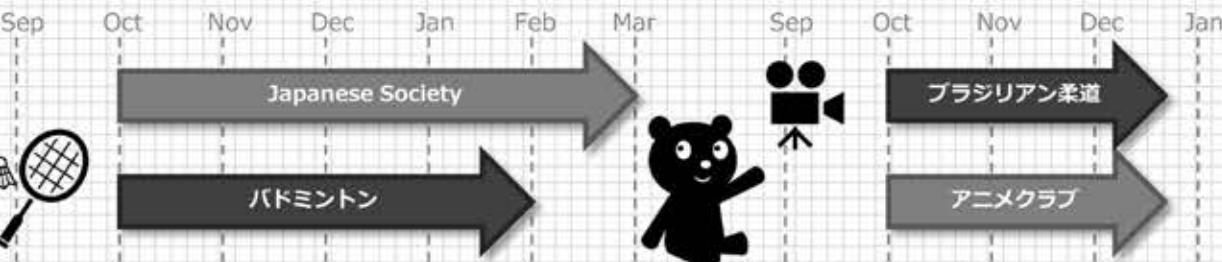
Japanese Society（言語交換コミュニティー）を通して文化交流

- ① 日本語に興味のある学生と、文化交流などをしていました。団体には50~60人の学生が参加し、そのうち日本人学生が15人程度、他は現地の学生や、他国からの留学生でした。日本茶を飲むティー・パーティーや、日本映画の鑑賞会などが週に2~3回ありました。言語交換も活発に行われ、私はブラジル人とマレーシア人の学生と日本語で会話をしたり、日本語の勉強を手伝ってあげたりしました。
- ② 留学中に現地の学生ともっと交流する場を持ちたいと思っていたからです。
- ③ 留学開始直後に友人からJapanese Societyの概要については聞いていましたが、クラブや団体の新歓期間中に設置されていたブースで、具体的な活動内容について知ることができます。
- ④ お別れパーティーとして、現地の学生の家でホームパーティーを開いてもらったり、みんなでおいしい手料理を食べたうえに、手紙でもらい、とても嬉しかったです。



大学生や社会人としたバドミントン

- ① 大学のスポーツコースと、バドミントン爱好者の集まりに参加しました。スポーツコースでは週に1回、授業のように先生がいる中、試合形式で打ち合いをしていました。一方、爱好者の集まりは月に1~2回都合の良いときに参加して和気あいあいと楽しむものでした。
- ② 中高6年間バドミントンをしていたので、留学中もやってみたいと考えたからです。
- ③ 最初は大学の部活に登録しようとしたのですが、保険に加入できなかったため、入部できませんでした。その際に語学の先生がスポーツコースを紹介してくれたのがきっかけです。それに対して、爱好者の集まりは、気軽に参加できるものをSNSで探しました。



左がM.Y.さん、右がY.M.さんのスケジュールだよ

Y.M.さん（文化構想学部）

アメリカ / ボストン大学 / CS-L

合気道を活かしたプラジリアン柔術の部活動

- ① プラジリアン柔術とは、格闘技と護身術の側面を持つブラジル発祥の武術のことです。30人ほどの規模の部活で、週2回練習がありました。公式試合はありませんでしたが、実戦形式で練習しました。
- ② 日本で合気道サークルに入っているため、留学中も格闘技を続けたいと思いました。留学先の大学に唯一あった格闘技部活がプラジリアン柔術だったため、日本ではあまり馴染みのないスポーツでしたが挑戦することにしました。
- ③ 大学のサークルの新歓で活動を知り、登録しました。留学プログラム開始後3週間はオリエンテーション期間で、新歓の他にも英語強化プログラム、ボストン観光などのイベントがありました。
- ④ インストラクターから「技を覚えるには体感するのが一番」と言われ、何度も技をかけられることがありました。初心者ということもあります、練習がハードでしたが、合気道で培った技術も活かすことができ、留学中は一度も怪我することはありませんでした。

アニメクラブで日本文化を語る

- ① 毎週金曜日の夜にクラブメンバーで集まって、バブル期などの日本のアニメの上映会をしたあと、ご飯を食べに行きました。
- ② 「アニメ」という日本文化を通して、他の国の友達を作ろうと思いました。クラブに入った結果、アメリカ人だけでなく中国人、イタリア人とも親友になることができました。
- ③ ブラジリアン柔術と同じく大学の新歓で知りました。
- ④ 上映作品によっては、外国人にとって理解しづらい日本文化の描寫もあったため、それを他のメンバーに解説することが度々ありました。例えば“駆込み寺”についてなど、日本史に詳しくなければ説明できないものもあり、自分自身にとっても日本をより良く知るきっかけとなりました。



先輩に聞いた！

留学先の選び方

なんと早稲田大学の海外協定校は600校越え！
先輩は何を重視して留学先を選んだのでしょうか？



1 国＆地域 97票

各プログラムの説明はp.2をご覧ください。

「現地学生と学べるから（EX-R）」「語学力を鍛えたいから（CS-L）」「学位を取得できるから（DD）」などの回答がありました。自分にぴったりなプログラムを探すには事前の下調べが必須です！

★留学開始直後から自分の取りたい科目を取りたかったから。
また、費用面でも負担が少なくて済むから。
(法/ノルウェー/オスロ大学/EX-R)

★EX-Rでいきなり現地に飛び込むことに不安があり、CS-Lでしっかりと英語を学びたいと考えたため。
(国際教養/カナダ/アルバータ大学/CS-L)

★帰国子女なので英語圏に行くのであれば語学プラスアルファを求めていたから。
(社会科学/アメリカ/ジョージタウン大学/EX-R (GLFP*))

GLFP*: Global Leadership Fellows Programの略。アメリカ名門大学への1年間の留学に加え、留学前後にも特別な教育カリキュラムが組まれる。学部1年次から始まり、卒業までの4年間を通してのプログラムであることが大きな特徴。



3 学べる科目 51票

「言語を習得するため」という回答が圧倒的多数！その他には自分の専門分野を深めるためという人も多くいました。

- ★法律を英語で勉強してみたかったから。
(法/アメリカ/オレゴン大学/CS-L)
- ★スウェーデンの福祉を学びたいと思っていたから。
(文化構想/スウェーデン/ウプサラ大学/EX-R)
- ★スポーツビジネスを学ぶため。
(スポーツ科学/アメリカ/メリーランド大学/EX-R)

Q. 留学先を選ぶ際に重視したことは？
回答者数108名
(複数回答可)



持ちもの

先輩が必要・便利と答えたものには○、必要・不要両方の回答があったものには△をつけました。



○薬

外国のものは強すぎることが多いので、日本の医薬品、特に常備薬は必需品です！



△日本食や服

現地で入手できるかは、どの地域かによります。事前にインターネットで調べたり、同じ地域に留学していた先輩に話を聞いたりしてみましょう！



○くつ

靴よりも困るのがくつ！日本人の足に合うものは中々ありません。石畳や整備されていない道路などに備えて、歩きやすい靴を持つて行きましょう。ちなみにヒールの高いくつはあまり出番がありません。



成績 42票



成績が良いほど留学できる大学の選択肢が広がります。
TOEFL、GPAが足りなくて後悔している先輩もいるので、早め早めの対策を！

★留学に行こうと思った時期が遅くてTOEFLスコアを用意できなかっただため、行けるプログラムが限られていたから。
(人間科学/アメリカ/カリフォルニア大学デービス校/CS-L)

★TOEFLのスコアがあまり高くなく、少ない選択肢の中で留学先を決めなければならなかったから。
(国際教養/オーストラリア/アデレード大学/CS-L)

5 治安 30票

6 学校の規模 29票

7 費用&物価 22票

8 日本人の多さ 11票

9 早大生の留学生数 8票

the Others その他 12票

★留学期間：【その他】の中で最も多かったのがこれ。
特に中期プログラムを選んだ人が留学期間（半年間か1年間か）を重視していた傾向にありました。「留学しても4年で卒業したかったから」または「就職活動に支障がないようにしたかったから」中期を選んだという回答がありました。

○リュックサック&バックパック
両手が空くので便利です。ただし背中には目が届きにくいのでスリに要注意。また、防水機能がしっかりしていれば急な天候変化に焦る必要がありません。

○折り畳み傘

「現地では日本製のような質の良いものが手に入らなかった。」

△ゆたんぽ

「ホストファミリーと温度感覚が違い過ぎたため役立った。」



○辞書

電子辞書は自習の際に大活躍。ただし会話中にいちいち調べるのは、あまり印象が良くなっこも…。一方、紙辞書は試験の際にも持ち込める可能性が高いので役立ちます。

△日本語の本 (教科書や旅行ガイド)

必要・不要どちらの意見もありました。
本は重いので厳選しましょう。

○文房具

「自分の使い慣れたものが売っていなかった。」



おみやげを何にするか…とても難しいですが、悩み抜いて選んだものなら喜んでもらえるはず！

○日本のお菓子

「現地の人に配って交流することができた。」

△箸

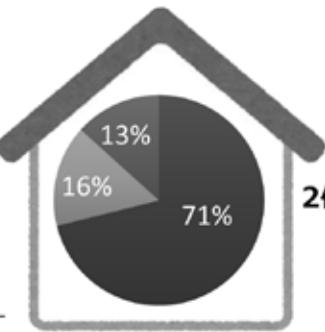
「ホストファミリーは意外とたくさん持っていた。」

いかがでしたか？
先輩の意見を参考に持ち物を吟味してみましょう！
いざとなったら日本から送ってもらったり、
通販で取りよせられるのでご安心を。



住まい

留学前には気になる現地の生活事情。
先輩たちに住居のタイプを聞いてみました！



- 回答者数108名（複数回答可）
- 1位 寮**
91票 (71%)
 - 2位 アパート&シェアハウス**
20票 (16%)
 - 3位 ホームステイ**
17票 (13%)

寮 91票

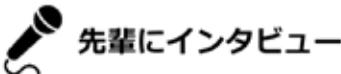
寮（ルームシェア&水周り共有）

- 2人で寝室兼自室をシェア。お互い気遣いしすぎず程良い関係だった。
(アメリカ / ハワイ大学マノア校 / EX-R)
- インド人の女の子と寮で二人部屋。仲は良かったが、生活リズムが真対立だったのでよく眠れないときもあり大変だった。
(アメリカ / メリーランド大学 / EX-R)
- シャワーが共有だと、誰かが使っている時に使いのが不便。
(アメリカ / レッドランズ大学 / CS-R)

寮（一人部屋&水周り共有）

- 自分一人の部屋もありつつ共有スペースもある、丁度良い距離感を保てる理想的な環境だった。
(アイルランド / リムリック大学 / CS-R)
- 4人で水周りを共有。中国人2人と日本人2人で分かれてしまい、あまり仲良くなれなかった。
(カナダ / アルバータ大学 / CS-L)

1. 住まいの様子や、現地の人との交流は？
2. 良い点、悪い点は？



R.K.さん（法学部）

ドイツ / ボン大学 / CS-L

寮（一人部屋&水周り付き）

1. 一人部屋にキッチン・バス・トイレが付いていて生活に困らない状況で、1人の時間も持つ私にとっては最適でした。落ち着いて生活したい時にずっと家にいても困らない、そんな環境でした。寮は全部で約500室あり、ドイツ人学生もたくさん住んでいました。私の階には25人くらい住んでいたのですが、そのうちの3人と特に仲が良かったです。同じ授業を取っていた韓国人留学生の女の子とはお互いの部屋で料理を作り、和食と韓国料理を持ち寄ってよく晩ご飯と一緒に食べていました。

2. 寮に飲食可能な40人くらいが入れる共有スペースがあり、寮の監督生がセメスターの終わりなどにパーティーを企画してくれました。そこで他の階に住むドイツ人や他国からの留学生とも知り合うことができ、交友関係が広がりました。大きな寮だったため監督生がしっかりと運営してくれていて、入居時にインターネットの接続などの問題で困ったときには数人の学生が助けてくれました。ただ、上の階に住む人のギターの音が響いてきたり、パーティーで隣人が騒いだりしてうるさかったことは寮ならではの欠点かも知れません。それでもトラブルの際には寮の監督生が相談に乗ってくれたので、助かりました。



D.Y.さん（政治経済学部）

アメリカ / ローレンス大学 / CS-L

寮（ルームシェア&水周り共有）

1. キャンパス内にある寮で現地学生と2人でルームシェアをしていました。部屋はワンルームで、キッチン・シャワー・トイレをフロアの人たちと共有する形式の寮です。また寮にはカフェテリアがあったため、寮生は基本的にそこで食事をしていました。ビュッフェ式だったので、定食の場合と比べると選択肢が多くて良かったと思います。ただ、1年間過ごすとどうしても後半は料理に飽きてしまうこともあります。寮生と交流する機会はたくさんありました。カフェテリアで日常的に寮生と接することができましたし、ピザパーティーやムービーナイトの様なイベントも開催されていました。

2. 寮がキャンパス内にあったため、教室にはだいたい15分で、図書館には30秒で行くことができ便利でした。また、水周りが共有の場合は汚いことが多いと聞きますが、私の寮はシャワーが綺麗で快適でした。ルームシェアをして良かった点は、ルームメイトがゲーム好きだったので、一緒にゲームをして楽しく過ごせたことです。あまり良くない思い出としては、寮生が電子レンジでポップコーンを焦がしたせいで火災警報が鳴り、午前4時に全員寮の外に出されたことが印象に残っています。



アパート&シェアハウス

20票

- 大家さんの住む一軒家の一室をアパートとして借りていた。毎週金曜は住人みんなでご飯と一緒に食べて、たくさん話す機会を作っていた。
(アメリカ / カリフォルニア大学デービス校 / CS-L)
- 大きい一軒家に1階5部屋、2階3部屋があった。言い合いになったことはなく、みんな仲が良かった。
(オーストラリア / メルボルン大学 / EX-R)

ホームステイ 17票

- ホストファザーは厳しく、融通が利かない部分があつた。そのため初めは戸惑うこともあったが、誠意を持って話すことで誤解を解いたり、受け入れてもらうことができた。
(アメリカ / ワシントン大学 / CS-L)
- ホストファミリーの作るご飯がおいしく、また、優しく接してくれたので最高。
(アメリカ / ポートランド州立大学 / CS-L)

H.Y.さん（国際教養学部）

デンマーク / コペンハーゲン大学 / EX-R

アパート

1. デンマーク人の家族（お母さんと5歳の娘さん）が住むアパートの、一番大きい部屋を貸していただいていました。留学当初は大学の寮に入ろうとしていたのですが、大学側の事情で寮には入ることができませんでした。そのため大学から提供されたリストを見ながら、個人の部屋を貸している人に一件ずつ電話をかけて自分自身で部屋を探すことになりました。

アパートの一室を借りて居候するというスタイルは、デンマーク、特にコペンハーゲンでは珍しくありません。ひとり暮らしとホームステイの中間という形です。たまに娘さんが部屋に遊びに来て、ぬいぐるみや折り紙で遊び、現地語を話す良い機会にもなりました。

2. 良い点は調理器具が全部揃っていたことです。キッチンはその家族と私で共有していて、冷蔵庫や冷凍庫は半分ずつ使っていました。また、自分の出かけたい時に外に出かけ、友人と会うことができたので、時間を有意義に使って良かったです。普段はこのように自由に過ごせた一方で、私が病気のときは家族が看病してくださいました。一人だったら大変だったなと思います。悪い点はほとんどありませんが、同居する家族との相性次第だと思います。



H.T.さん（商学部）

アメリカ / カリフォルニア大学デービス校 / CS-L(1S)

ホームステイ

1. 学校外でも英語を話さなければならない環境に身を置くことで英語の会話力を伸ばしたいと考え、ホームステイを選びました。ホストファミリーは30代の夫婦で、もう1人日本人留学生のハウスメイトがいました。早稲田の留学センターから委託業者を紹介していただき、その中からホームステイ先を決めました。私が参加した中期の留学プログラムではホームステイをする人が多かったです。EX-Rなど1年間の長期プログラム参加者の中には、最初がホームステイでそれからアパートに引っ越しする人もいました。

2. 委託業者を介してホストファミリーにお金を払う形のホームステイだったので、1日の食事の回数や量が決められています。ただし食事の時間や帰宅時間は特に指定されていませんので、時間の使い方は基本的に自由でした。また家具は既に揃っていたため、キッチンなどもすぐに使ってとても便利でした。他にもホームステイの利点として、アメリカらしい大きな家に住み、そこで家族の一員として暮らせたことがあります。休日にはBBQグリルで大きな肉を焼いたり、家族のイベントとしてベビーシャワー*や赤ちゃん誕生のお祝いをしたり、アメリカの文化を感じることができたのは良い経験です。

*ベビーシャワー：出産前に妊婦さんをお祝いするアメリカ発祥のパーティー。



M.I.さん（国際教養学部）

メキシコ / イベロアメリカーナ大学 / EX-R

ホームステイ

1. 閑静で自然の多い、富裕層が暮らす住宅街で暮らしていました。家にはおばあさんとドイツ人留学生が住んでいて、たまにおばあさんの娘家族が遊びに来ました。週1回来るお手伝いさんには洗濯やアイロンがけなどをしていただき、私は地下にあるキッチン、庭と部屋を自由に使わせてもらいました。使えるスペースが広い分、家の中では1人でいることがほとんどで、初めは寂しくなることもありました。ただ次第に自ら外に出かけて友達と会うようになり、「家ではゆっくり、外では友達と過ごす」というメリハリのある生活をすることできました。

2. メリットは空気が綺麗で、夜も静かだったので落ち着けたこと、セキュリティーがしっかりとしていたことです。また、私がスペイン語を話せるようになったは、おばあさんとのゆっくりな会話でスペイン語に少しずつ慣れていくことができたからだと思います。

デメリットはホームステイ先が自分の希望通りではないこともあります。私のホームステイ先は遊ぶ場所から遠かったのですが、私は積極的にパーティーに参加し、できるだけ多くの人々と交流したかったので、後期から友達の家に居候をしました。引っ越ししたことで同世代との交流が増え、パーティー好きなメキシコ人の様に楽しい暮らしも経験することができました。



留学BA

Before
After

語学力の伸びに満足していますか？

とても満足

25

できるだけ多くの時間、日本人以外と接する
ように心掛けていたので、英語を使う機会が
多くあったから。(カナダ)

満足

45

やや満足

31

リスニング、スピーチングは留学して
いなかつたらそこまで身につかなかつ
たと思うから。(シンガポール)

あまり満足
していない

5

まだそこまで自分自身が思ったことを
そのまま話せないから。(フランス)

満足していない

2

「とても満足」と回答した人はスポーツやボランティアのような
複数の活動を行い、語学力を磨いていた傾向があります！

留学前後でわたしのここが変わった！

①体重 ②行動力・積極性 ③コミュニケーション能力

体重と回答した人のうち、増量した人が7割強！



～成長を実感したエピソード～



何事にも挑戦する行動力

興味のあることにはとりあえず手をつけるようになった。興味のある授業はまず受講しておいて、手に負えないと感じた場合はスケジュールを組みなおすようにしていた。最初から諦めることはなくなった。(アメリカ・イリノイ州)

対人力

現地で知り合い、連絡先を交換した人は100人以上。日本に帰ってからもボランティアなどのイベントにどんどん参加するような積極性が身についた。(中国)



プラス思考 (Positive Thinking)

家が決まっていないまま留学先に飛び込んだり、電車のチケットが届かないまま旅行に行ったりした。現地でなんとかなるだろうという思考や、実際に解決する力がついた。(デンマーク)



ストレス耐性

ホストファミリーと一緒に暮らしていく中で、不便さも楽しむ気持ちで生活できるようになった。(アメリカ・ワシントン州)

意外！？留学後にはこんな変化も！

多数派編

度胸

鉄道の遅延やスリをはじめとして
トラブルがよく起こったので
何事にも動じなくなつた。
(ドイツ)



生活能力

寮暮らしをすることで、
自炊ができるようになった。
(アイルランド)



少数派編

笑顔

街で人と目があった時に
微笑む癖がついた。
(アメリカ・アイオワ州)



旅行慣れ

ヨーロッパやアフリカなど
様々な国へ行ったことで
旅上手になった。(イギリス)



個人行動

1人で行動することに
前より抵抗がなくなった。
(オーストラリア)



食生活

バナナが常備食になった。
(アメリカ・ニューヨーク州)



外国慣れ

帰国してからもついトルコ式の挨拶
(ハグをして頬へキスをするふり)を
しそうになる。(トルコ)



人にぶつかったときにSorryと
言ってしまうようになった。
(アメリカ・ワシントンD.C.)

価値観

自分と違う考えを持った人への抵抗がなくなり、
むしろ“普通”はないのだと知った。(イタリア)



世界の大きさ

ホストファミリーの高い身長に合わせて
テーブルや天井、洗面台全てが高かつたため、
日本に帰国したら全ての家具がミニチュアに見えた。
(アメリカ・ワシントン州)



服装

ファッショセンスが変わり、
あまりこだわらなくなった。
(オーストリア)



筋肉強化

ランニングや旅行を通して
身体が若々しくなった。
(オランダ)



家族

親元を離れるのが初めてだったので、
家族の大切さをより感じるようになった。
(アメリカ・ワシントンD.C.)



USA

(オレゴン州)

ドーナツを食べながら後ろ向き
に歩いてはいけない。「なぜだ
かわからない。」オレゴン大学
留学経験者談。

Germany

人前で鼻水をするのはマナー
が悪い。「そんな人がいたら
ティッシュを渡す。汚い。」と
ドイツ人の友人。

USA

(ウェストバージニア州)

大人はベビーカーに乗ってはな
らない。「乗ってる人は見たこ
とありません。」アメリカ留学
経験者談。

Mexico

バス停では日本のタクシーのよ
うに、乗りたいバスが来たとき
に手を上げないとバスが止まっ
てくれない。学生留学アドバイ
ザー内にもバスを逃した経験者
数名。

ミニ
コラム

法律 and マナー

Thailand

映画館などで上映前に国王讃歌
が流れ、起立しなければならず、
6時と18時にも町中で国王讃歌
が流れ、立ち止まなければな
らない。

Singapore

チューインガムを噛むことだけ
でなく、国内に持ち込むこと自
体が禁止されている。持ち込
んだら罰金1万5ドル(約75万円)
以下が科されてしまうことも。

**Before After の次は
Future!**





1 留学×大学院進学

N.F.さん（国際教養学部卒）

アメリカ / イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校 / EX-R

<留学がアメリカの大学院進学につながりました>

私は大学で主に日本語教育学を学び、卒業後に同分野でアメリカの大学院に進学しました。3年次に外国語教育の理解を深めるため、私の第二言語である英語の教授法、TESOL*を学べるイリノイ大学アーバナ・シャンペーン校へ留学したことが院進学の大きなきっかけです。

イリノイ大学でTESOLの学生団体に所属し、その活動の中で学会に参加するうちに多くの大学院生と仲良くなり、ある程度院生活を体験することができました。また、学会を通して興味を持った研究から、大学院で学びたい分野が具体化されました。院進学は元々学部2年次から視野に入っていましたが、留学後には院進学への気持ちをより固められました。

帰国後すぐに院進学を目指して準備を始めました。例えば、志望校の情報収集、推薦状の依頼、TOEFLの受験、研究計画書の執筆などです。また、留学中に出会った教授や大学院生の友達にアドバイスをもらうことで、効率よく準備を進められました。留学中の経験や人脈のおかげもあり、志望の大学院に合格することができました！

現在は院生として学ぶだけではなく、日本語授業のTA*として、週に3回授業を担当しています。今までボランティアとして少人数に教えたことはありますが、今は1度に20名ほどの学生を受け持っています。初めて経験することが多いため緊張する同時に、いつもとても楽しみです。大学院卒業後はアメリカかヨーロッパで日本語講師として働きたいと考えています。

TESOL*: Teaching English to Speakers of Other Languagesの略。英語教授法。

TA*: Teaching Assistantの略。



2

R.N.さん（国際教養学部）

台湾 / 国立台湾大学 / DD

<大学院で学びたいことを見つけられました>

留学先では管理学院、日本でいうマネジメント（ヒューマンリソースやマーケティング）を学ぶ学部に所属していました。私が参加したのは1年半で学位をもらえるDDプログラムだったので、その期間で4年分の必修科目を取らなくてはなりませんでした。

それまで国際教養学部では幅広い分野を学んでいたため、1つの学問を長期間に渡り集中して学ぶことは初めての経験でしたが、そこに勉強の醍醐味を感じました。内容を理解し、吸収し、成長していることを実感できたからです。マネジメントを学ぶことはとても楽しく、1年半の学びでは少し物足りないと感じたため、大学院への進学を決意しました。

実は留学前から大学院に行くことを視野に入れていましたが、専門を何にするかは迷っていました。ちなみに留学前に最も興味を持っていた学問はファイナンスです。その理由は単純に楽しそうだと、数字を理解できたら便利だと思っていたからです。それに加えて留学前に履修した統計の授業が想像していたよりも簡単だったため、得意だと勘違いしていたことも理由の一つです。しかし実際に留学先でファイナンスを学んでみたところ、どんなに予習復習をしたり先生に質問をしていく通りの結果や成績を出せませんでした。そのため研究分野をマネジメントに変更しました。留学先がその分野を詳しく集中的に学べる環境だつことと、魅力的な先生が多かったことからマネジメントをもっと学びたいと考えるようになりました。1年半の留学で自分の苦手や興味に気付き、学びたいことを明確にすることで良かったです。



留学×卒業研究

T.K.さん（国際教養学部卒）

フランス / リヨン第三大学 / CS-L

<留学中に学び始めたことを帰国後からゼミで専攻しました>

留学を通して新しいこと・知らないことにどんどん挑戦する姿勢が身につきました。その例が“イスラム”について学び始めたことです。きっかけはテロ関連のニュースで連日イスラムが取り上げられる中、自分がイスラムについて何も知らないと気づいたことでした。留学前は特に専攻科目はなかったのですが、それからはイスラムを専攻するようになりました。イスラムについて学び始めて、フランスに対するイメージが変化しました。留学当初は漠然と「様々な人種・国籍の人人がうまく共存している国」というイメージを持っていました。例えばフランスにはイスラム教のモスクがたくさんあり、またスーパーでもハラルフード*がよく売られているためです。しかし意識して観察してみると、異なる思想や考え方から衝突することも多いと気づきました。

留学後はイスラム研究のゼミに所属し、主にフランスに住むイスラム教徒や、移民とその子孫に関して勉強しました。卒業研究を進める過程で、治安が悪く貧困層の多い郊外にイスラム教徒の移民が多く暮らしていることを知りました。また、政教分離を掲げるフランスでは政治と宗教が密接に関係するイスラム教は反発を受けやすく、そういう背景が絡み合って衝突が起きていると考えました。私は来年から社会人として働きますが、今後もイスラムについて学んでいきたいです。将来外国人の人たちと働く際に、多文化理解の面で学んだことが必ず役に立つと思います。留学先ではわからないことばかりですが、何事もまずは一歩踏み出して体験してみることが良い経験につながります。

ハラルフード*: イスラム教の法律にのっとった食べ物。豚肉や酒類などが禁じられている。



留学×キャリア

K.S.さん（国際教養学部卒）

アメリカ / カリフォルニア大学リバーサイド校 / CS-L

<留学経験が仕事に活きています>

最近は就職活動で英語力が必須条件になり、留学経験だけでは差別化できない時代です。それでも留学は就職活動にアピールポイントとして、ある程度武器になると私は思います。

例えば英語のコミュニケーション能力です。自分の主張を相手に伝え、かつ、相手の言い分を正しく理解する。この力を鍛える環境として、留学は最適です。ただし海外に行くだけでは英語力は伸びません。私自身、留学の最初3か月間は漫然と過ごしていましたので英語力が伸びませんでした。危機感を感じた私は気持ちを切り替えました。まず、友達からTVを借りてFOXニュース*のシャドーディングを始めました。それを毎日1時間続けた結果、半年後には現地学生とディスカッションしていた際に「すごい発音上手だね」と言われるようになりました。また、自分独自のルールを作りました。平日は起きてから17時まで、英語しか使わないというものです。もちろん日本人に対しても。

このようにして留学中に得た英語のコミュニケーション能力は、現在の仕事に活かされています。私はコンサルタントとして働いており、仕事の際に英語を使う機会が多くあるからです。コンサルタントの仕事はプロジェクト単位でお客様に合わせいろいろなところに行くのですが、例えば以前、外資系メーカーに行って仕事をしました。その際に関わった人は全員外国人でした。アメリカ人やインド人と働き、普段の業務中の会話もメールも全て英語でした。仕事に活かせているのは英語のコミュニケーション能力だけではありません。留学で得た行動力も活いています。日本はお国柄というか、“沈黙”していくこともあります。けれども、同僚に何かお願いする時にはきちんと言葉にしなければ伝わりません。また、わからないことがあった時には自分から聞かないと答えを得られません。私は留学を通して自分から主体的に行動しないと物事が動かないことを学び、自発的に行動するようになりました。

アメリカ留学で身に付いた英語のコミュニケーション能力と行動力は私のキャリアにとても活きています。留学して良かったと思っています。また、みなさんがもし留学するなら留学中には興味を持ったこと、やるか迷ったことをまずは「やってみる」ことが大事です。海外でしかできないことがたくさんあるので、是非そのチャンスにトライしてください。

FOXニュース*: アメリカの報道番組



まだまだつづく→

留学×就職活動

1

S.K.さん（法学部）
アメリカ / ポートランド州立大学 / CS-L

＜留学をきっかけに、世界で働くことを決意しました＞

留学中は「とにかく今できることを全力でやろう」と考え、日本語学部でTAを行ったり、合唱サークルに所属したりしました。中でも在ポートランド駐在官事務所（領事館）でのインターンシップは、私の進路決定に大きな影響を与えてくれました。



インターンシップでは日本文化を広める活動や在米日系企業の調査をしました。具体的にどんな調査をしていたかというと、在米日系企業が法律を遵守しているかどうかを調べていました。初めはアメリカでのビジネスマナーが全くわからずとても苦労しましたが、間違いを恐れず取り組むうちに自然とマナーが身につき、最終的には日本の伝統文化を広めるプロジェクトを私一人に任せてもらいました。この経験を経て「もっとアメリカで挑戦をしたい！」と思い、留学を1ターム（3ヶ月）延期しました。大学で異文化や法律を学ぶことはもちろん、インターンシップも継続し、アメリカで働くとはどういうことかを経験することができました。

帰国後は就職活動を行い、領事館で行っていた業務に関われる企業に就職することが決まりました。近い将来にはキャリアアップのため海外大学院への進学も視野に入れており、いつかは世界を舞台に仕事をしたいです。「世界で活躍したい！」なんて、留学前の自分が聞いたら驚くだろうなと思います（笑）

2

S.I.さん（社会科学部）
アメリカ / オレゴン大学 / CS-L

＜留学はキャリアプランの形成に大きな影響を与えてくれました＞

留学中に良かったことは、パーティーやCoffee Hour*に参加したことです。人脈が広がり、いろいろな価値観に触れることができました。例えばCoffee Hourでは現地学生と卒業後のプランについて話すことがあります。日本だと新卒で就職する学生が多いですが、海外ではギャップイヤー*を利用する学生も多くいるという話を聞きました。現地学生たちがギャップイヤー中に取り組みたいことを語っている姿を見て、就職という型にはまった考え方以外にも選択肢はたくさんあると気づくことができました。



私自身は帰国後に就職活動に取り組み、日系金融企業に就職することが決まりました。多くの選択肢がある中で就職活動を選んだのは、将来アメリカで働くためのステップとして「まずは日本で働く」と考えたからでした。また、金融業界に興味を持ち始めたのも留学中で、旅行でウォールストリートを訪れたことがきっかけです。ニューヨーク株式市場の中心であり、金融の象徴と言われるチャーチジング・ブルという銅像もあり、街並みや働いている人たちに憧れました。まずは就職先の企業で経験を積み、将来はウォールストリートのような場所で働くことを目指しています！

Coffee Hour*: コーヒーを飲んだり、お菓子を食べたりしながらおしゃべりする時間。

ギャップイヤー*: 高等学校や大学卒業後、すぐに進学・就職をせずに“寄り道”をする期間のこと。ボランティアや旅を通して、学校では学べないことを学ぶことが期待されている。

3

S.K.さん（国際教養学部）
ドイツ / ポン大学 / CS-L

＜海外稲門会での出会いが就職活動で活きました＞

デュッセルドルフ稲門会*の活動に参加したことは就職活動に役立ちました。稲門会の新年会やBBQで、現地に駐在しているOBOGの方々と知り合えたからです。メーカー・商社、銀行など様々な企業で活躍するOBOGの方々とお話しすることができました。当時は全く就職活動をしていなかったのですが、業界の種類や働いている人の雰囲気を知ることができて、帰国後の就職活動で会社を選ぶ際にとても役立ちました。



また、留学中に最も交流のあったOBの方には、私が日本に帰ってからも就職活動について相談にのっていただくがありました。その方からの応援メッセージのおかげで就職活動を乗り越えることができたと思います。就職活動後、私がその方の勤めている企業に就職するとお伝えした際にはとても驚かれました（笑）

留学中の活動が就職活動の際に活かされたこととしては、稲門会の他にもボランティア活動への参加があります。私は留学中に3つ、ボランティア活動をしていました。国際交流基金の日本文化センターとポン大学の日本語学科で日本語を教えるもの、あとはリサイクル活動です。ボランティアを始めた理由は「留学中に勉強や旅行以外にも何かしたい、現地の人たちと知り合いたい」と思ったからです。留学中に自分のしたいと思ったことを一生懸命がんばれば就職活動の際にアピールできると思うので、留学を思いっきり楽しんでください！

稲門会*: 早稲田大学の卒業生で構成されるOBOG会。日本国内だけでなく、世界各国にも「海外稲門会」がある。

やっかり気になるお金のこと

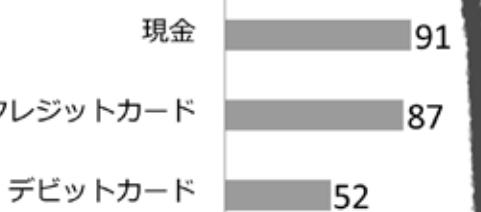
管理方法は？

回答者数108名（複数回答可）

- | | | |
|----|-------------------|-----|
| 1位 | クレジットカード | 87票 |
| 2位 | デビットカード | 76票 |
| 3位 | 現地銀行で口座開設 | 41票 |
| 4位 | 現金を部屋で管理 | 33票 |
| 5位 | その他（トラベラーズチェックなど） | 10票 |

支払い方は？

回答者数108名（複数回答可）



- クレジットカードはMasterCardとVISAの2枚あった方が良い。
- 旅費など高額な支払いにはクレジットカードを頻繁に利用した。
- 基本的にデビットカードを使用し、現金は友達と割り勘をする時に使った。
- 少額だと現金でしか支払えなかった。
- 寮費を払うために現地で銀行口座を開設した。

カードで管理している人がほとんど。
また多くの人が複数の方法でお金を
管理し、状況に合わせてカードと現金
を使い分けています。カードと現金の
どちらが主流かは国・地域によるので
留学先について必ず調べて準備を進め
ましょう！

他人事じゃない！お金のトラブル

N.H.さん（国際教養学部）
フランス / リヨン第三大学 / CS-L

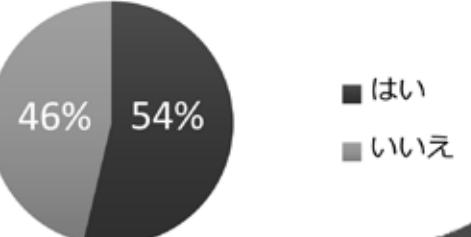
私はフランスのリヨンからパリへ行く電車の中で財布を盗まれました。日本への帰国直前で油断していたことが原因だと思います。パリ到着後に気づいた時には、デビットカードに入っていた残高（約30万円）が既に全て使われていました。私は大きなショックと両親への申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。そして、すぐに駅構内の案内所と警察署に行って、盗難届を出すなどの手続きをしました。また、日本の両親やカード会社にも連絡をしました。日本帰国後も引き続きカード会社との必要な手続きを行い、半年後にやっとカード会社の保険によって盗まれたお金が補償されました。この経験を通して、日本では治安の良さから忘れがちな警戒心を外国では常に持ち続けることの大切さをひしひしと感じました。



奨学金

どうしても多額の費用がかかつてしまう留学…。
そんな時に心強いのが“奨学金”です。気になる人は必ず留学センターHP、または留学センターの発行する『留学の手引き』を参照しましょう！

奨学金を受け取っていましたか？



回答者数108名：はい58名、いいえ50名

エジプトを自転車で旅行していたら
熱中症で死にかけた。

(Y.O.さん/アラブ首長国連邦)



ロックアウト

オートロックの寮で鍵を部屋の中に3回も置き忘れた。朝の3時半に締め出された時は電話も部屋の中に置き忘れ、誰かが部屋の外に出るのを廊下でひたすら待ち続けた。

(M.U.さん/アメリカ・オレゴン州)

Fire Drill

“Fire Drill”的意味がわからず、シャワーに入ってしまった。
突然サイレンが鳴り出し、全身ビショビショのまま服を着て外に飛び出すはめに。ただの避難訓練だった…。

(M.N.さん/アメリカ・ハワイ州)

学生ビザをなくし、警察と移民局に泣きついた。

(M.Y.さん/メキシコ)

ここはどこ？

夜、寮近くのバス停で降り忘れた。バスがどんどん郊外に向かう中、気づいた瞬間慌てて降りたが、タクシーで帰宅するはめに。

(H.K.さん/リトアニア)



極寒の中で野宿

イギリス旅行中に帰宅手段を失った。外気温6°Cの中、バス停で一晩夜を明かすことになった。警察が配布していた全身をくるめる防寒用アルミシートを使って、ファストフード店のチキンナゲット＆ポテトと一緒にくるまり暖をとった。

(R.K.さん/ドイツ)

早稲田
留
ハブ[!]



がゆれた！
学
ニング

起きり得るもの。
乗り越えてきたのでしょうか？



鍋が火柱を上げて燃えた。

(M.K.さん/中国)

誘拐騒ぎ

急いでいたらドアが少し開いた状態で出かけてしまった。それを見たルームメイトは私が誘拐されたと思い込み警察に通報…！

(J.M.さん/イタリア)

メキシコでピラミッドに置き去りにされた。

(T.M.さん/アメリカ・カリフォルニア州)



寒すぎて髪の毛が凍った。

(M.Y.さん/ノルウェー)



銃？！

ポケットに入っていた黒い眼鏡ケースを取り出そうとしたら、銃だと勘違いされて女性2人に逃げられた。

(H.M.さん/アメリカ・カリフォルニア州)

旅行先で水に落ちて携帯とカメラを壊した。

(M.K.さん/イギリス)

欠航

帰国当日、飛行機が欠航に。便が変更になったせいで、日本に着いたとき出迎えてくれるはずだった家族も友人もいなかった。1年ぶりの再会のはずが…。

(S.K.さん/ドイツ)



上の部屋から下水が洪水のように流れてきて部屋が浸水した。

(Y.I.さん/フランス)



What did you do during the VACATION?

Y.K.さん（政治経済学部）

アメリカ・オレゴン州 / ルイス&クラーク・カレッジ / CS-L

南米旅行にトラブルはつきもの？

Q. 南米旅行には誰と行った？行こうと思ったきっかけは？

A. 1月3日から約3週間、留学先のオレゴンで友達になった日本人4人と行ったよ。みんな元々南米に興味があって、どうせ行くなならアメリカ留学中の方が安いし近いから、留学中に行こうってことになった。費用は25~27万円くらいだったかな。現地での滞在費やフライト、移動費、食費全て込みで。目的地はマチュピチュとウユニ塩湖がメインだったよ。

Q. 留学中にできた友達と旅行したんだね。マチュピチュとウユニ塩湖では何をした？

A. マチュピチュでは遺跡を巡って、ワイナビチュっていう山に2時間ほどかけて登った。その後、ウユニに行く途中でラバスという街の観光をしたり、民族衣装を買って実際にウユニ塩湖で着てみんなで写真を撮ったりしたよ。ちなみにウユニ塩湖は朝と夕方に分けて観光したんだ。日の出と夕日を見に行くために。その景色は今までにないくらい綺麗だった！

Q. そうなんだ！印象的だった出来事はどんなこと？

A. ガイドに半分騙された、みたいなことがあったな。マチュピチュを案内してくれていたガイドが、ウユニの案内もやってくれるって言うから、1人当たり400ドルくらい払ってバスとかホテルの手配も全て頼んだんだ。でも、約束の日の朝になってもそのガイドが来なくて（笑）。それで、そのガイドに電話すると「今違う町にいるんだ。今日はいけないから明日行く」って言いつ始めた。一応そのガイドは次の日には来たんだけど、1日遅れて来たのにお金の返却とかもなしで…。ホテルに関しては有名な塩のホテルに2泊3日で泊まれる予定が、「そのホテルは取れない」と言い出す有様だったよ。

でもそれだけじゃなかった。そのガイドとは結局ラバスで別れたんだけど、「ウユニに着いたら別のガイドがいて案内してくれる」って言っていたのに、現地にガイドはいなかつたんだよね。だから結局ホテルもウユニのツアーも現地で自分たちで探して見つけた。その分、200ドルくらい余分にお金がかかったよ。この経験は非常に印象的かな。

Q. そんなことがあったんだね…。その他にも大変だったことはある？

A. ポリビア滞在中に寄生虫のせいで体調を崩したこと！ウユニから戻って来てからラバスに合計3日間いたんだけど、その1日目に腹痛が、2日目からは下痢と血便が始まって、腹痛がひどくて歩けなくなってしまった。病院で検査をしたら「ポリビアではコモンな寄生虫だ」と言わされて、医者はその時僕が手に持っていたゲータレード*を指差して、

「それいいじゃん、それを飲み続けろ」って言い出したんだ。痛み止めはもらえたけど、そのあと死にそうになりながらタクシーに乗って空港まで行ったよ（笑）

Q. えっ…！何はともあれ無事で良かった。食べ物、体調系では何に気をつけるべき？

A. 寄生虫の原因是マチュピチュで食べたアイスなんじゃないかなって思ってる。でも発症する人としない人がいて、疲れたりすると発症しやすいみたい。水に関してはできるだけ避けた方が良いね。元々アイスとかフルーツとか、水に関わるものは食べない方が良いって言われていたんだけど、どうしてもアイス食べようってなって…。

Q. そうだったんだ（笑）。最後に、旅先でのトラブル対応の心得を教えて！

A. 体調を崩した時は、頼れる人に頼ることが一番だよ。一緒に旅行してる人だったり、留学時に加入する保険の早稲田大学サポートデスク*だったり。無理なら自分で対処するしかないけど、薬局とかもあるからね。例えば、高山病は事前に準備すれば予防できるんだ。高山病を予防するお茶みたいなのとか、薬もあって、僕たちも買ったよ。そのおかげで僕は登山をしても普通だったのかもしれない。だから下調べはして行った方が良い。あとは体調を崩したら、とにかく安静にして無理しないことが大切だね。

ゲータレード*:スポーツドリンク
早稲田大学サポートデスク*:留学中に加入必須の海外旅行保険のサービス。
怪我・病気・盗難など、困った時に24時間電話相談できる。

M.M.さん（国際教養学部）

中国 / 北京大学 / EX-R

ボランティアとインターンシップに挑戦！

Q. どんなボランティアをしていたの？

A. 台湾の原住民の子どもに英語を教えたり、南京の老人ホームやろう学校で手話を通して交流したり、所属している早稲田大学のサークル『ハンセン病問題支援学生NGO橋-QIAO-』の一環でインフラ整備を行ったり…。あとはラジオ局でインターンシップをして、70分のラジオ出演もしたよ！

Q. いろいろな活動をしてたんだね！その中で一番大変だったのは？

A. 台湾の学校でのボランティアが一番大変だった。私は中国語が話せるけどあまり現地の子どもたちに懐かれない一方で、他の日本人の子たちはよく懐かれたり、子どもたちがそれぞれ複雑な家庭環境や原住民差別の被害の影響を受けていたり…。自分が担当するグループの中で問題がありそうな子の家に家庭訪問する機会があって、実際におばあさんと二人暮らしの子の家に行って話を聞いたこともあった。その活動の中で気づいたのは、日本人学生がお客様気分でボランティアに参加しているということ。現地学生は原住民の子どもたちのためにボランティアをしているのに、日本人学生は自分たちの世話を現地の人たちにさせてしまっていて、違和感を感じたな。

Q. いろいろ考えさせられるボランティアだったんだね。一番印象的だったのもそのボランティア？

A. 一番印象的だったのはラジオ局でのインターンシップだな！ラジオ局では取材音声の書き起こしや、取材と日中のプレス会談の同行をしていて、最後には「自分の夏休み」をテーマに番組も持ったんだ。その中で戦後70周年の取材に同行させてもらって、戦争で中国に行ってからずっと中国に住んでいる日本人の方々からお話を聞くことができたのは、とても貴重な機会だった。中には日本語を忘れてしまって中国語しか話せない方もいたし、「私は今は中国人として生きています」って仰る方もいました。その中でも日本軍の看護師をしていた方が「実際に中国に住んでみると、日本と同じように良い人もいれば悪い人もいる。」って仰っていて、日本軍の治療をしていた戦争経験者の方からその言葉を聞けたことがとても嬉しかったし、印象深かった。

Q. すごく良い経験をしたんだね。どうやってそんなにたくさんのボランティアやインターンシップを見つけたの？

A. 多かったのは早稲田からのメールかな。私はボランティアサークルに所属していてボランティアセンターからのお知らせメールもあったから、そこから得られた情報が多かったと思う。あと、北京には早稲田の北京オフィスがあって、「ボランティアをやってる」って言ったら支部局長さんが紹介してくれたこともあったよ！

Q. 最後に、長期休暇にボランティアやインターンシップをして良かった？

A. 良かった！自分が結果を残せたかどうかは別として、実際に行かないといわからないこともたくさんあるから、それを見られて本当に良かった。私は元々の留学目的が社会格差を見る目的だったから、台湾の原住民やろう学校の生徒、実際の戦争経験者から話を聞けたのはとても貴重な経験だったよ。

留学中はボランティア以外でも日中関係について考えさせられることがたくさんあった。震災の時に中国でNGO活動をしていた日本人の方が、現地の人たちから「家族は大丈夫？」「日本頑張ってね！」ってたくさん温かい言葉をかけられたって仰ってた。その人は「実際にデモや暴動が生活に占める割合は8%くらい。その8%以外の部分も報道して欲しい」って言っていて、本当にその通りだと思う。私自身もタクシーに乗った時に「俺は日本に行ったことがないけど、日本が大好きなんだ」って運転手さんに話しかけられて、その運転手さんが「日本人でも中国人でも、良い人もいれば悪い人もいる。民間から仲良くならないといけない」って言っていたのにはすごく共感したな。振り返ってみると、とても人に恵まれた留学だった。





N.A.さん（国際教養学部）
イスラエル / ハイファ大学 / EX-R

エジプトでホームステイを

Q. どうしてエジプトでホームステイしようと思ったの？

A. そもそも「紛争」について学びたくてイスラエルを留学先に決めたんだけど、イスラエルは治安も良いし、想像以上に先進国だったんだ。すごく良い国なんだけど、自分の期待していた「アラブ独特のごちゃごちゃ感」がなくて少し物足りなくて。だから、長期休暇中にアラブ人の国であるエジプトに行ってみることにした！せっかく現地で過ごすなら、現地人と同じように生活して、現地に溶け込みたいと思っていたことがホームステイのきっかけかな。4月に1週間、7月に10日間の2回ホームステイをして、友達の大学に連れて行ってもらったり、買い物をしたり、あとは映画を観に行ったよ。

Q. 2回もホームステイしてたんだね！どうやってホームステイ先を見つけたの？

A. 1つ目のホームステイ先は『日本中東学生会議』っていうサークルに所属している友達に紹介してもらった、エジプト人の友達の家だった。2つ目のホームステイ先は、1つ目のホームステイ先の友達の友達の家だよ。友達のつてをどんどんたどっていった感じかな（笑）

Q. なんだ！自分でホームステイ先を探すのは中々大変だから、やっぱり友達のつてって大事だね。

ホームステイ中に大変だったことはある？

A. うーん、エジプト人の多くがイスラエルのことを嫌ってたことが大変だったかな。イスラエルと周辺のアラブの国々の間にはパレスチナ問題*で壁があるからね。エジプトでは日本人留学生でも、私みたいなイスラエルから来た人は嫌われる場合があって、「話したくない」と言われたこともあった。もちろんエジプト人みんながそんな感じという訳ではないけど、イスラエルに留学していることは隠していたよ。

実はパスポートにイスラエルの入国スタンプがあると、そのあと入国できる中東の国が限られるんだ。エジプトの他には、ヨルダンとか数ヶ国しか入国できない。エジプトは「入国できる＝イスラエルと外交関係が良い」って行く前は思っていたんだけどね。

Q. イスラエルに入国するとそんなことになるなんて、全然知らなかった…。やっぱり、イスラエルとエジプトって全然雰囲気が違うった？

A. うん。イスラエルと全然違うっていう点では喫茶店の光景が印象に残ってるな。エジプトの喫茶店ではシーシャ*とコーヒーのセットが普通で、お客様はたぶん9割がおじさんだった（笑）。イスラエルでは滅多に見ない光景だから、おじさんがいっぱい集まっているびっくりしたよ。

あと、イスラエルにはなかった「アラブ独特のごちゃごちゃ感」がエジプトにはあって、すごくおもしろかったよ。エジプトに行く前にヨルダンやパレスチナみたいな、こぢんまりとした国々に行つたから、大国に来て余計に衝撃が大きかったのかも。

Q. そのアラブ独特のごちゃごちゃしている感じって具体的にはどんなもの？

A. 「アラブ独特のごちゃごちゃ感」っていうのは、例えば、タクシーがドアの付いていないままお客様を乗せて走行していたり、バスは時刻表に関係なく満員にならたら出発したり。あとは横断歩道の無い場所で歩行者が道を横断することも多くて、信号も道路の線も無視して車やバイクが走行していたし。日本に比べると何もかもが自由すぎて、カオスみたいな感じのことかな。そんな留学前から見たいと思っていた光景を見られて、「満足！」って気持ちになったよ。大変なこともあったけど、ユダヤ人の国であるイスラエルとアラブ人の国であるエジプトの違いを現地の人の目線で見られておもしろかったから、行って良かった！

パレスチナ問題*: パレスチナの地を巡る、イスラエル人（ユダヤ人）とパレスチナ人（先住アラブ人）の対立問題
シーシャ*: 水タバコ



M.U.さん（商学部）
ニュージーランド / オークランド大学 / CS-L

サウジアラビアとの弾丸旅行

Q. どういう経緯で二人で旅行に？

A. 語学のクラスであるサウジアラビア人と仲良くなつたんだ。その子とは最初の学期の初めに知り合って、意気投合した友達だよ。その学期が終わる際に「どこかへ行こうよ」という話になつて、急遽二人の弾丸旅行が決定したんだ。場所は街並みの綺麗さと自然の豊かさが共存する南部の観光地クイーンズタウンに行くことに。二人ともその場所に興味があったからか、あっさり決つた。文化や価値観が全く違う外国人の友達と二人きりで6日間旅行をすることになったよ。

Q. 二人きりの弾丸旅行は思い切ったね。旅行先で印象的だったことはあった？

A. 気候が穏やかな地域であるのにも関わらず、強い雪が降つたことかな。南半球の5月ということで、時期からしても非常に珍しい出来事だったよ。普段見ることのできない雪景色のクイーンズタウンを楽しむことができたのはめちゃくちゃ幸運だったね。けれども雪のため移動がままならず、当初予定はしていなかつたけど、映画を男二人きりで観るという一日を過ごしたよ（笑）。ギャグのシーンでは映画館が観客の笑いでわいたり、ありえないようなシーンでは「No way」と観客の総つっこみが入つたり、日本の映画館では見られないような光景を目の当たりにしたのは非常に新鮮だったね。

Q. 日本で味わうのとはまた違つた映画鑑賞を経験したんだね。現地では何かおもしろいアクティビティに挑戦した？

A. クイーンズタウンの街のそばにある山でLuge（リュージュ）というスポーツを体験したよ。Lugeというのは車輪やハンドルの付いたそりのような乗り物で、ゴンドラやリフトで山の頂上まで登り、専用のくねくねしたコースを猛スピードで下るスポーツだよ。Lugeを体験できる場所は世界でもそれほど多くなくて、ニュージーランド・カナダ・シンガポールなど数カ所だけっていう話を聞いた。これもまた日本では体験できないもので、迫力が尋常じゃなかつたよ。

Q. 確かに迫力がすごそうだね。旅行をしてみて文化や価値観の違いを感じた？

A. 彼と旅行で一緒に過ごしてみて、日本人はないような押しの強さを感じたよ。ある夜、夕食にしては少し遅い時間だったけど、開いているレストランを探している時に良いビザ屋さんを見つけたんだ。けれども、閉店時間を少し過ぎていてクロージングの作業をしているようだったから、僕は違う場所を探そうと提案しようとしたんだ。だけど、友達は「掛け合ってみれば行けるかもしれないよ」と言って、店に入って店員さんに交渉しに行ったんだ。

その姿を見て、「日本人には真似できないような押しの強さを持っているなー」って感心したよ。

Q. 友達と過ごしてみて、国民性の違いに気づいたんだね。外国の旅行ならではの体験とかはあった？

A. その場その場での地元の人や観光客とのコミュニケーションが外国の旅行ならではの体験だったと思う。サウジアラビア人の友達のフレンドリーさや積極性に感化されて、旅行先のご当地ビール・グルメフェスティバルである家族に話しかけてみたんだ。すると、その家族はドイツから来ていたようで、僕はちょうどドイツ語を第二外国語として履修していたから、ドイツ語で少し会話を盛り上げたんだ。

その他にも、バスを利用していた時に運転手と会話を弾んで仲良くなつたりとか、旅行中に様々な場面で地元の人や観光客と話をして仲良くなる機会があったよ。こういった体験はやっぱり日本ではそうできるものではなかつたから、新鮮な感覚を味わえる旅行ができたと思う。旅行に限らず、思い切つて周りの人たちに話しかけてみるとみんなフレンドリーに接してくれるから、勇気を持って挑戦してみるとさらに楽しい留学生活になると思うよ！





Food EXPO 食べもの

～料理を食べて現地文化を体験！
※紙面に載せきれなかった“独特すぎる料理”



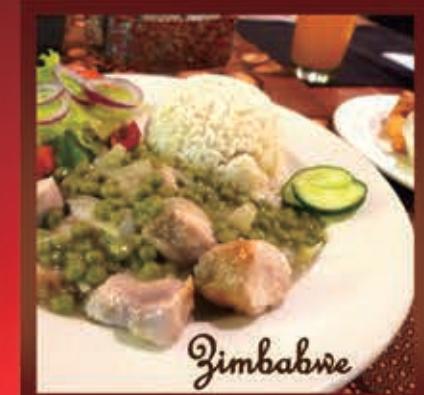
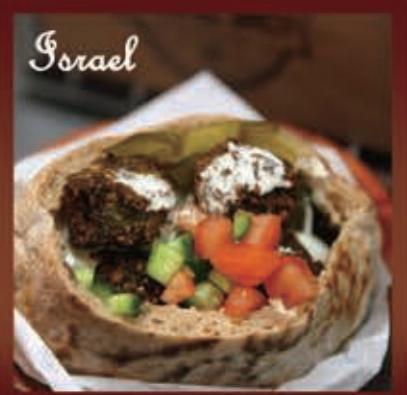
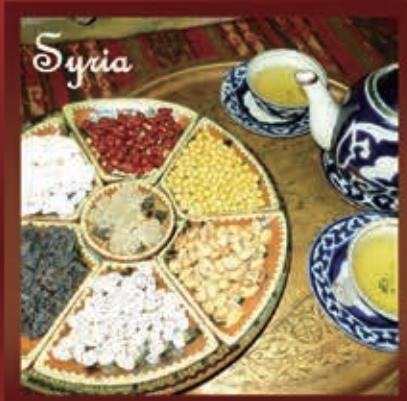
カレリアパイ
フィンランドのソウルフード。ライ麦生地の上にジャガイモや米を詰めた、片手に収まる食べやすいサイズのパイです。卵、バターをのせるとさらにおいしくなります！

シカゴピザ
シカゴ特有のピザ、その名もずばりシカゴピザ！ピザとは思えない、まるでグラタンのような分厚さで、一切れでも満足なボリュームです。

ウサギの肉
薄いお肉を巻いたように炒めたもの。野菜を煮込んだソースと一緒に食べるととてもおいしかったです。田舎の方ではよく食べられているそう。

博覧会

各国から独特なものを集めました～
はQRコードを読み取ってご覧ください



タジン鍋
もとはモロッコから伝來したスペインの郷土料理。味は濃いけれど、野菜がたっぷり入っていてヘルシーなうえ、アツアツの鍋なのでとても満腹感を感じられます！

カルネアサダフライ
アメリカンメキシコ料理。タコスに入れる肉やワカモレ、チーズ、サワークリーム、サルサをフライドポテトに豪快にかけたカロリー高めのとってもおいしい料理です（笑）

ファラフェルサンド
ピタパンにファラフェル（ヒヨコ豆のコロッケ）、野菜やフムス（ヒヨコ豆のペースト）を挟んだもの。大学で昼食はいつもこれを食べていました。肉は一切使われていないものの、満腹感が得られます。

ワニの肉料理
ジンバブエでは、街のスーパーでなんとワニ肉が販売されます！鶏肉と豚肉の中間のような味がしておいしいです。

ガイヤーン
屋台でよく売られているタイ版焼き鳥。日本との違いは1匹丸ごと焼かれていること。パクチーとにんにくの効いた甘辛いタレにつけて食べると絶品です。

キビナイ
牛肉、羊肉、えのきなどを詰めたスパイシーなミートパイ。伝統料理で見た目は小さいけれど、中身が詰まっているので、1つでも結構満足できます。



"petit" Global Humans of Waseda

短期留学



T.K.さん（人間科学部）

ドイツ/ボン大学

夏休みを有意義に

私はせっかくの長い夏休みを無駄にしたくなかったこと、またドイツの環境政策やドイツ語に興味があったことから、短期プログラムでドイツに留学することを決めました。中長期留学に行くかどうか迷っていたので、それを見極めるためにはまず短期留学で海外に滞在してみて、何か変わるか見てみようという動機もありました。

プログラムの選び方としては、まず、大人数のプログラムで行きたいと思っていました。当時はまだドイツ語を始めたばかりで自分のドイツ語力に自信がなく、一人では不安だったからです。また、留学センターのプログラムで行こうと思った理由は、やっぱり大学が提供しているものの方が安全だと思ったからです。当時はドイツに行ける留学センターのプログラムがベルリン自由大学とボン大学しかなかったので、その2つから選ぶことになりました。

ボンを選んだのは、費用、期間、そして参加している学生層が理由です。ベルリンはボンよりも期間が短いのに加えて費用も高く、早大生のみを対象としたプログラムでした。他方、ボンは期間がほぼ丸々1ヶ月と長いのに費用はベルリンより安く、他の国からの留学生も受け入れているプログラムでした。私は「せっかくドイツで1ヶ月過ごすのに、早大生ばかりのプログラムではもったいない」と思い、ボン大学を選びました。*

*参考：2016年度夏のドイツ短期プログラムは、ボン大学とミュンヘン大学がほぼ同じ期間、費用で催行されました。



最後まで読んでいただき、ありがとうございました。
来年度の留学TIMESをよりよくするために、
1分程度のアンケートにご協力お願いします！
[←https://goo.gl/forms/EAJSqwdkjN9diDSI2](https://goo.gl/forms/EAJSqwdkjN9diDSI2)



"Global Humans of Waseda"とは？

留学経験者や留学生の価値観やバックグラウンドに焦点を当て、留学の魅力を通常の留学体験記とは異なる側面から伝えています。気になる方は学生留学アドバイザーのFacebookページをチェック！



R.S.さん（先進理工学部）

アメリカ/カリフォルニア大学サンディエゴ校エクステンション

長期留学へつながった短期留学

国籍を問わず、良い友達と巡り会えました。例えば一緒に旅行に行く友達や、ドイツ語がわからないときに助けてくれる友達です。友達が増えるのと並行して、外国人はもちろん、日本人でもいろいろな人がいることを知り、自分が寛容になれたとも思います。留学中に得た友達の中で一番影響を受けたのは、現地でワーキングホリデーをしていた日本人の方です。常に夢を追い続ける姿勢や、何でも挑戦している一生懸命な生き方がとてもカッコ良いと感じました。その方とはその後の長期留学で再会したり、今でも連絡を取り続けています。

また、何でも自分でやってみようと思うようになり、行動力も身に付きました。私も初めは驚いたのですが、ドイツ留学中は電車一本ですぐに隣国に行けました。そのため私は毎週末旅行に出かけたのですが、計画通りに行かないことも沢山ありました。例えば、観光地のパリでも日曜日にはお店がほとんど閉まっていたことです。私はGoogle Mapやインターネットが使えない、行き当たりばったりの旅も海外旅行の醍醐味だと思っていたが、どうしても行きたいところがある場合には事前リサーチをオススメします。

得るものも多かった一方で、当初「何か変わるものかもしれない」と期待して臨んだ短期留学では、残念ながら大きな変化はありませんでした。約1ヶ月の滞在ではドイツの環境政策を学ぶだけの語学力を培えなかっただし、旅行で終わった感じが大きかったです…。私は短期留学を経て、より一層、長期留学へ行きたいという想いが増しました。短期留学に行くか行かないかで悩んでいる人は絶対に行った方が良いと思います！

気軽さが決め手

元々、両親が「海外行きなよ！」と留学を薦めていました。私は最初乗り気ではなかったんですが、「行けば楽しいだろう」とは思っていたので留学をしてみました。短期プログラムを選んだ理由としては、やはり“気軽さ”が大きいですね。

まず、期間の面で参加しやすかったです。中長期プログラムだと半年～1年間早稲田を離れる事になるので、私の学科ではほぼ確実に留年が決まってしまいます。というのも実験の単位を1つでも落とすと、それに付随する必修科目を受けられなくなるからです。それに引き換え、短期プログラムだと休暇中の1ヶ月だけなので支障はありませんでした。授業だけでなく、アルバイトやサークルなどにも支障がないというのもメリットですね。また、語学力の面でもハードルが高くないようを感じました。TOEFLのスコアだったり、あらかじめ高い語学力が必須ではないので。

留学先としては英語圏が良かったんですが、数あるプログラムの中でもサンディエゴを選んだ理由は、ホームステイができ、早稲田からの留学人数が比較的少なかったことです。それから、インターネットでサンディエゴのことを調べてみた時に、自然が多くて治安の良い場所だと知ったことも決め手の一つですね。

かけがえのない1ヶ月間

ただ、同じカリキュラムに参加している日本人の多さには困惑しました。たまたまなんですが、私のクラスだけ私を含めクラスの15人全員が日本人だったからです。他のクラスには日本以外の国から来た留学生もいたんですけどね…。そのため、授業外でどれだけ英語に触れるかを意識して行動するようになりました。いろいろな環境に自ら飛び込みました。

例えば、現地のクラフトサークルに参加しました。そのサークルは学生の集まりではなく、主婦の方が多く所属していました。そこではみんなで編み物や縫い物をするんです。週1回開かれるので計4回参加したんですが、留学中の1ヶ月間でマフラーを1つ編み終わるぐらい没頭しましたよ（笑）。短い留学生活であっても、サークルに参加し、現地の人たちと関わる機会を作ることはオススメです！

あと、ホームステイ先もすごく恵まれていたんです！私のホームステイ先はホストマザーが1人だけで住んでいるところだったので、マンツーマンで英語の練習をすることができました。料理もすごく美味しかったです。そのホストマザーとは今でもSNSで連絡を取るぐらい親しくなれました。今まで地元を離れたことのなかった私にとっては“第二の故郷”を感じるぐらい、またサンディエゴに行きたいと思っています。

あとがき

2016年度版『留学TIMES』はいかがでしたか？「留学に興味を持ってもらいたい」「留学生活を有意義なものにして欲しい」という目標のもと、留学体験談を多く盛り込み作成しました。留学経験者や学生留学アドバイザーの想いがこもった一冊ができあがったと思います。みなさんに留学の魅力が具体的に伝わっていれば嬉しいです。

また、留学に対して何か悩みや質問があれば、いつでも私たちに相談してくださいね。留学がみなさんの人生において大きなステップとなることを心から願っています。それでは来年度の留学TIMESもお楽しみに！

学生留学アドバイザー・メディア班

E-mail: adviser.event@gmail.com

Facebook: <https://www.facebook.com/wryugakuadviser>

Twitter: <https://twitter.com/wryugakuadviser>